

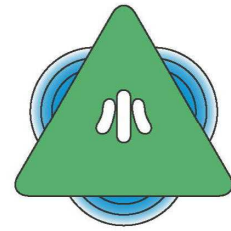
# 鳥海の子

～明るく・かしこく・たくましく～

令和5年度 学校報 No.22 文責 校長

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校 令和5年10月13日



## 後期 スタート

学びと育ちが集結した「飛鳥祭」を終えて10月4日（水）に前期終業式を行いました。飛鳥祭の発表練習のおかげで校歌合唱では爽やかな歌声が体育館に響き、代表発表は堂々として立派でした。そして、後期始業式でも同様でした。始業に当たって「前期は全員参加ができました、次は「**全員全力**」を目指して「**失敗をチャンスにする**」「**言葉を味方にする**」「**当たり前をできるようにする**」をがんばりましょうとお話したところです。



前期の終業式で「前期にがんばったこと・後期にがんばりたいこと」を発表してくれた3人の発表を紹介します。

### 「前期にがんばったこと・後期にがんばりたいこと」

2年 佐藤 \* \*

ぼくが二年生になって、がんばったことは二つあります。  
一つ目は、本をいっぱい読んだことです。七十さつ読む、という目ひょうよりもたくさん読むことができました。一ばんおもしろかったのは、図かんです。図書かんにはたくさんの図かんがあるので楽しいです。ぼくの一ばんすきな図かんは、きょうりゅうと、どうぶつと、鳥です。図かんを読んで、今まで知らなかった生きものを知ることができました。  
二つ目は、かてい学しゅうをがんばったことです。かてい学しゅうノートを二さつおわることができました。おずかしかったことは算数のひっ算です。くり上がりやくり下がりをたくさんれんしゅうしました。国語のかてい学しゅうでは、かん字をたくさんれんしゅうしました。二年生になっただけでかん字がふえました。おずかしいかん字を書けるように、なん回もれんしゅうしました。まだすこしじしんはないけれど、前よりも書くことができるようになったと思います。  
後期にがんばりたいことは二つあります。  
一つ目は、テストです。まちがえないようにするために、先生の言うことをちゃんと聞きたいと思います。そして、お家でもかてい学しゅうをがんばりたいと思います。  
二つ目は読書です。前期よりもいっぱい本を読みたいと思います。本をたくさん読んで、生きもののしゅいをもっとたくさん知りたいと思います。  
後期もがんばります。

4年 佐藤 \* \*

私の前期の思い出は、みんなとなかよくし、勉強もしっかりできたことです。とくによくがんばったのは、あいさつです。相手の目を見て、大きな声であいさつするのが苦手だったけれど、だんだんやっていくうちに「あいさつは元気をくれるものなんだ。」と気づいてきました。それで、相手の目を見て、大きなあいさつができるようになりました。がんばったことはほかにもあります。外国語です。英語が苦手で、いつも少ししか言えないけれど、少しずつがんばっていったら、そのうち楽しくなって、いつも元気いっぱいがんばることができるようになりました。  
後期にがんばりたいことは三つあります。一つ目は、あいさつです。前期は相手の目を見て大きな声であいさつができるようになったけれど、後期は少しグレードアップしてトーン高く、相手より先にあいさつができるようにしたいです。そうすれば、相手のことも元気にできると思ったからです。二つ目は、テストです。私は見直しをしてもケアレスミスをして、点数がへってしまいます。だから勉強ではポイントは自主学習に書いてまとめ、ケアレスミスをなくしたいです。そうすれば満点を取れると思います。三つ目は、体育での運動です。私はマット運動をするのが少し苦手です。後期になったら運動をするのを少しでも楽しくしたいです。そうすれば、マラソンや体育が楽しく思えて、体の健康にもつながるし、体を動かすのが少しでも楽しくなればよいと思ったからです。  
後期も、友だちと協力し、勉強をがんばりたいと思います。

## 6年 佐藤 \* \*

六年生になって、心に残っている行事が二つあります。一つは運動会です。初めての応援歌づくりは、最初は難しかったけれど、みんなが意見を出し合って、最高のものができたのでよかったです。白組は負けてしまったけれど、全力でがんばり、楽しめました。放送委員の仕事では、早口になったり出番に遅れてしまったりしたけれど、最後までしっかり放送することができました。

もう一つの行事は飛鳥祭です。理由は、発表準備や民俗芸能の練習が楽しかったからです。発表準備では、鳥海の歴史をさぐるために、直根小・川内小・笹子小に勤めていた先生にインタビューしました。発表の台本を考えるときには、鳥海小の創立10周年に関わることを調べました。私は三船さんに川内小の行事についてインタビューして、閉校のお祭りについて教えていただきました。父も川内小出身なので、私の知らない話を聞いてみたいです。

民俗芸能では、天神あやとりのあや棒を落とさないことや、ふり付けを大きくしてひろうすることを意識して練習しました。保存会の方にアドバイスをいただき、ふりを大きくすることができるようになりました。中学生も動きを具体的に分かりやすく教えてくれて、とてもうれしかったです。

行事以外でも、日常生活の中でクラスの人と話したり、本をじっくり読んだりする時間があり、充実した毎日を送ることができました。委員会では、放送を忘れたときに五年生がフォローしてくれたことがありました。授業では、分からないときに先生や友達に教えてくれて理解したところもありました。縦割り班遊びでは、遊びを考えるのに悩んだけど、楽しく遊ぶことができました。

後期でがんばりたいことは、下の学年の手本になれるように行動することです。授業では発表の回数を増やしたり、家庭学習では理解していない問題の復習をして自分のためになる内容に取り組んだりしたいです。また、後期は鳥海小学校創立十周年記念式典もあるので、明るいあいさつをいつでも心がけ、地域の人たちにも元気にあいさつしたいです。

最高学年として、全校のみんなが楽しく過ごせる一年にできるよう、がんばりたいです。

## 3年生 鳥海 Lindou にふれる

10月3日、3年生が平根ファームに鳥海 Lindou の出荷にむけた様子を見学に行きました。飛鳥祭の「あっぱれ鳥海！！」の発表でも鳥海の特産品として関心を深めていた鳥海 Lindou の出荷を取材・体験して、地元の特産品への思いをさらに深めることができました。3年生の子どもたちは一人一束の鳥海 Lindou をいただき、家庭へのお土産としてそれぞれ大事に持ち帰っています。平根ファームさんには重ねてお礼申し上げます。



## いじめはダメ！ 人権教室

10月11日、4年生が本荘人権擁護委員協議会の4名の方々をお迎えして人権教室を行いました。「プレゼント」という動画を視聴して、いじている人、いじめられている人、いじめを見ている人それぞれの心情やいじめを起ささない方法について考えました。動画で主人公が疎外されると子どもたちのため息が聞こえ、「たとえ冗談でも相手の人が傷ついたらいじめ」「いじめられたからと言っても倍返しはダメ」「いじめをなくすには相手の気持ちを考える」「困ったら誰かに相談する」とつぶやきがどんどん続き、みんなが幸せに過ごすための学習に真剣に臨みました。学級全員が自由に発言し、受け止め合っている学級の様子にお客様の方々も感心して参観されていました。



## 今年のそばの収穫は…

10月12日、3年生・4年生が直根学習センターのそば畑で直根栄寿会のみなさん、学習ボランティアのみなさんに応援をいただき、そばの収穫を行いました。そば刈り経験者の4年生が3年生をリードしての活動でした。酷暑の影響で「こんなに不作な年はない」とボランティアの方がつぶやくほど実りは厳しいものでしたが、子どもたちにとっては楽しい収穫の時でした。「ここには山ほどあるよ。」「こんな大きい束を持てるかな」「(飛鳥祭4年生の発表に登場したそばの妖精) A そば、B そばがいる」と始終にぎやかに、一生懸命そばの実を探しながら手を動かした子どもたち。農作物の豊作は当たり前ではないことも学ぶことができました。

